

常国寺唐門（福山市）の広島県重要文化財への指定について

広島県文化財保護審議会の答申を受け、次の文化財指定について、2月10日（木）の教育委員会会議で審議する予定です。

建造物の広島県重要文化財指定は、平成23年以来、11年ぶりです。

県重要文化財に指定する予定の文化財（1件）

- 【種 別】 建造物
- 【名 称】 常国寺唐門（じょうこくじからもん）
- 【員 数】 1棟
- 【所 在 地】 広島県福山市熊野町甲 1481 番地
- 【規模・形状】 正面1間 側面1間 向唐門^{むかいからもん} 本瓦葺 木造
- 【建築年代】 18世紀前期
- 【内 容】

常国寺は、広島県福山市熊野町に所在する日蓮宗の寺院で、山号は広昌山^{こうしょうざん}といい、文明年間（1469年～1487年）に開基したと伝えられる。天正4年（1576）から15年にかけて室町幕府最後の将軍足利義昭が備後国へ滞在した際、常国寺が義昭の御所のひとつとなった。

常国寺唐門は、第12世日遼^{にちりょう}の代に建てられたとされており、日遼が没した享保14年以前に建てられたものと推測される。室町幕府最後の将軍である足利義昭の由緒を、享保期の施主と大工が当時の知識と技術で建物の形式及び意匠で示したという特色をもつ建造物であり、扉上段^{とびらじょうだん}の棧^{きりもんよう}の間に桐文様を浮き彫りにした板が嵌め込まれ、中備^{なかぞなえ}の臺股^{かえるまた}には足利氏の家紋である二つ引両が彫られている。

控柱^{ひかえばしら}の虹梁形^{こうりょうがた}の頭貫^{かしらぬき}とそれに直交する木鼻^{きばな}は雲形^{くもがた}に作られており、大瓶東^{たいへいづか}の左右に付く笈形彫刻^{おいがた}も力強く、材質・技法・意匠ともに優れている。



唐門正面（参道階段側より）



唐門正面（参道階段側より）

※写真のデジタルデータが必要な場合は、文化財課へ御連絡ください。

県内所在 国指定・県指定文化財等件数一覧

県報告示後

国指定文化財		県指定文化財		合計	
種別(種類)	件数	種別(種類)	件数		
国宝	建造物	7		7	
	絵画	2		2	
	工芸品	16		16	
	書跡・典籍・古文書	1		1	
	小計	26		26	
重要文化財	建造物	57	建造物	46 (+1)	103 (+1)
	絵画	11	絵画	51	62
	彫刻	44	彫刻	94	138
	工芸品	61	工芸品	55	116
	書跡・典籍・古文書	20	書跡・典籍・古文書	51	71
	考古資料	4	考古資料	18	22
	歴史資料	4	歴史資料	4	8
	小計	201	小計	319	520
重要無形文化財	0	無形文化財	2	2	
重要有形民俗文化財	7	有形民俗文化財	5	12	
重要無形民俗文化財	4	無形民俗文化財	67	71	
記念物	特別史跡・特別名勝	1		1	
	特別史跡	1		1	
	特別名勝	1		1	
	特別天然記念物	1		1	
	史跡	27	史跡	125	152
	名勝	7	名勝	6	13
	天然記念物	15	天然記念物	116	131
	名勝天然記念物		名勝天然記念物	1	1
小計	53	小計	248	301	
重要伝統的建造物群	4			4	
合計	295	合計	641	936	
記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財				11	
選定保存技術				1	
登録文化財		登録有形文化財		292	
		登録有形民俗文化財		1	
		登録記念物		3	

※1 網かけ部分が、今回回答される文化財に関係する部分である。

※2 件数は、今回の指定・指定解除等をした後のものである。()は変更件数。